

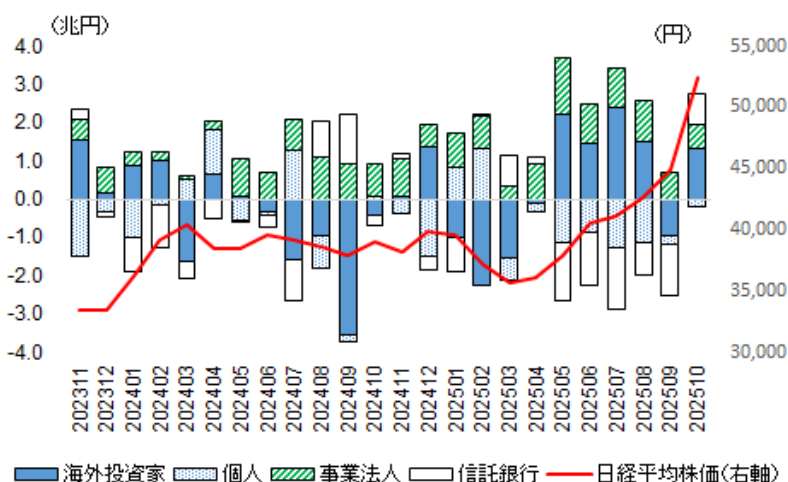
# 研究員の眼

## 投資部門別売買動向(25年10月) ～信託銀行が6カ月ぶりに買い越し～

金融研究部 研究員 森下 千鶴  
(03)3512-1855 mchizuru@nli-research.co.jp

2025年10月の日経平均株価は7カ月連続で上昇し、史上初の5万円台に到達した。月初は米政府機関閉鎖への懸念から軟調に始まり、2日の終値は4万4,000円台だった。その後、米利下げ観測や円安進行を背景に上昇基調を強め、4日の自民党総裁選で高市氏が勝利すると期待感が株価を押し上げ、6日は4万7,944円と大きく上昇した。中旬は、公明党の連立離脱や米地銀の信用不安により一時下落したものの、自民党と日本維新の会の連立合意の見通しや生成AI関連株の上昇が支えとなり株価は再び上昇した。21日に高市新内閣が発足すると、積極財政への期待や米ハイテク株高を受けて上昇が加速し、27日には終値で5万512円と初の5万円台に到達し、月末は5万2,411円で取引を終えた。投資部門別では、海外投資家と信託銀行、事業法人が買い越し、個人は売り越した(図表1)。

図表1 主な投資部門別売買動向と日経平均株価の推移

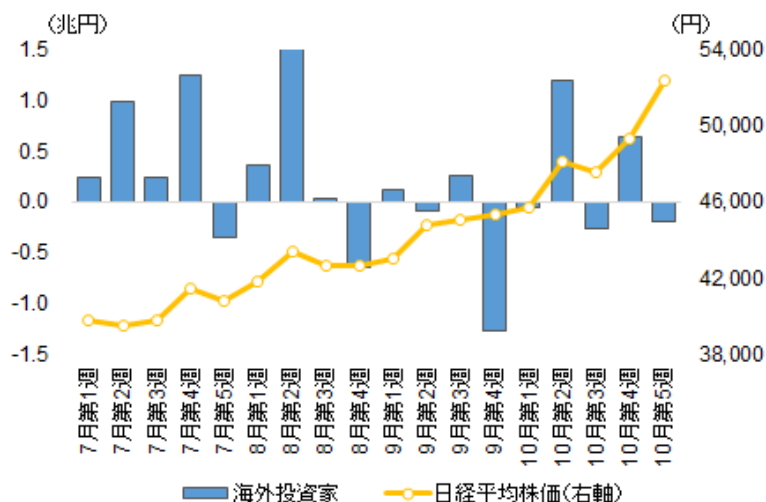


| 単位: 億円<br>(億円未満切り捨て) |        | 海外投資家  | 個人      | 証券会社 | 投資信託   | 事業法人   | 生保・損保  | 都銀・地銀等 | 信託銀行    | 日経平均株価<br>(円) |
|----------------------|--------|--------|---------|------|--------|--------|--------|--------|---------|---------------|
| 月次                   | 202508 | 15,170 | -11,328 | -484 | -6,265 | 10,695 | -1,894 | 896    | -8,626  | 42,718.47     |
|                      | 202509 | -9,565 | -2,431  | -121 | -5,036 | 6,935  | -1,855 | -1,868 | -13,100 | 44,932.63     |
|                      | 202510 | 13,235 | -2,163  | -463 | -4,661 | 6,374  | -2,205 | -132   | 8,014   | 52,411.34     |

(注) 現物は東証・名証の二市場、先物は日経 225 先物、日経 225mini、TOPIX 先物、ミニ TOPIX 先物、JPX 日経 400 先物の合計  
(資料) ニッセイ基礎研 DB から作成

2025年10月（9月29日～10月31日）の投資部門別の売買動向をみると、海外投資家が現物と先物の合計で1兆3,235億円の買い越しと、10月最大の買い越し部門であった（図表2）。週単位では、日経平均株価が約2,300円上昇した第2週（10月6日～10日）に1兆1,881億円と大幅に買い越した。一方、第5週（10月27日～31日）は現物と先物の合計で1,888億円の小幅売り越しとなった。第5週の日経平均株価は週初から5万円を突破し、週間で約3,100円上昇したが、海外投資家は先物を中心に利益確定の売りが優勢となった。

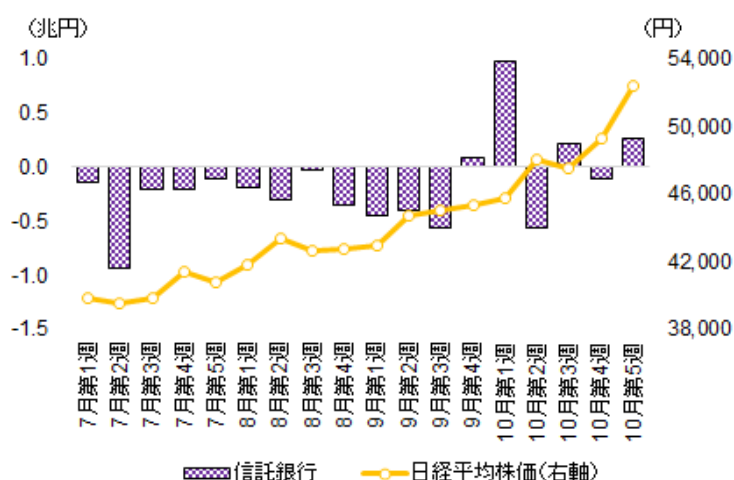
図表2 海外投資家は買い越し



(注)海外投資家の現物と先物の合計、週次  
(資料)ニッセイ基礎研 DB から作成

10月は信託銀行も現物と先物の合計で8,014億円の買い越しとなった。指数が上昇するなか、信託銀行は5月から5カ月連続で売り越していたが、10月は指数が大幅上昇する局面で6カ月ぶりの買い越しに転じた（図表3）。

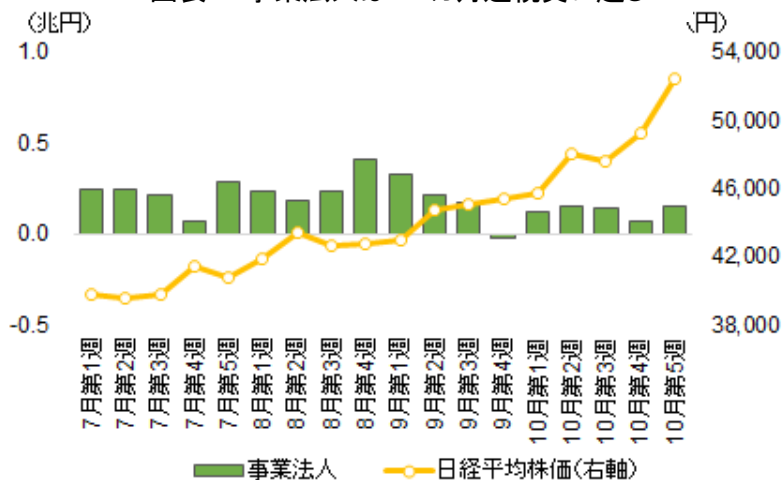
図表3 信託銀行は6カ月ぶりに買い越し



(注)信託銀行の現物と先物の合計、週次  
(資料)ニッセイ基礎研 DB から作成

さらに、10月は事業法人も現物と先物の合計で6,374億円の買い越しとなった。自社株買いが継続的に行われるなか、事業法人は53カ月連続で買い越しとなった（図表4）。

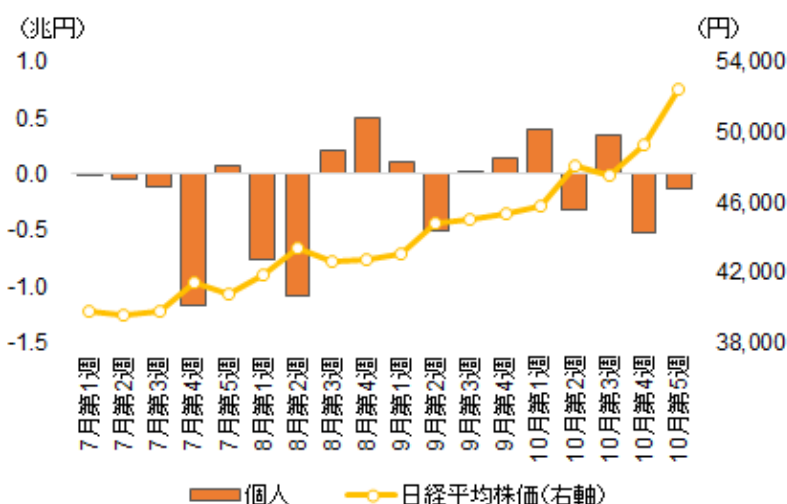
図表4 事業法人は53カ月連続買い越し



(注) 事業法人の現物と先物、週次  
(資料) ニッセイ基礎研 DB から作成

一方、個人は現物と先物の合計で2,163億円の売り越しとなった（図表5）。主要な投資部門が買い越し株価が史上最高値を更新するなか、個人は利益確定売りが優勢となり8カ月連続の売り越しとなった。ただし、売り越し額は、当初は毎月1兆円を超えていたのに対し、9月・10月の売り越し額は約2,000億円と縮小しており、個人の積極的な売り姿勢は次第に和らいできたようだ。

図表5 個人は8カ月連続売り越し



(注) 個人の現物と先物の合計、週次  
(資料) ニッセイ基礎研 DB から作成

以上